



広産建 第2-510号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

広川町長 白倉 充



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

いつもお世話になってます。道路行政に対するご支援、ご指導を賜り
厚く御礼申し上げます。

標記の件について、別紙の通り意見をまとめましたので回答します。
尚、今後とも、地方の現状を踏まえた整備計画を策定し、より効果的な道
路事業の推進にご尽力をお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

和歌山県広川町

道路整備は都市部が先行し進められてきたところであり、費用対効果の面においてやむを得ないと考えますが、地方への投資がやっとこれからという時期であり、整備の遅れている地方の道路へ予算の重点配分をされたい。特に東南海・南海地震において国道42号線が寸断された時の代替路として高速道路を早期に整備(4車線化)するとともに、インターチェンジに短時間でアクセス出来る道路の整備を推進されたい。

地方における幹線道路・生活道路の整備、道路構造物の維持・更新には、地方道路整備臨時交付金制度による道路財源の確保が不可欠であり、交付金制度の継続と予算枠の拡大を要望します。

○現状

防災のまちとして、災害に強いまちづくりを推進していますが、町道の大部分で道路幅が狭く、歩道を設置していないため避難路として満足できるものでなく、又、道路構造物等の老朽化が進み、維持管理においても厳しい現状であります。

○課題

地震・津波に対しては、人命を守ることに加えて、地域経済への影響が長期化することを避けるため、安全かつ迅速に避難誘導できるよう、道路改良・拡幅（多車線化・歩道設置）と橋梁の耐震化・長寿命化と道路構造物の維持補修を進める必要があるが、地方財政の厳しい中での対応が難しい。

災害に強いまちづくりと地域振興

東南海・南海地震が近いうちにおこるであろうと見込まれているなかで、海岸部に人口密集地があり防災機能を強化し安全・安心な暮らしができるまちとして整備を図り、人口減少化の歯止めと地域の活力を維持し、防災のまちとしての観光振興と農林水産振興等で地域の活性化を進めていく。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

和歌山県広川町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他